

第2章 未就学児父母調査結果

I. 基本集計結果

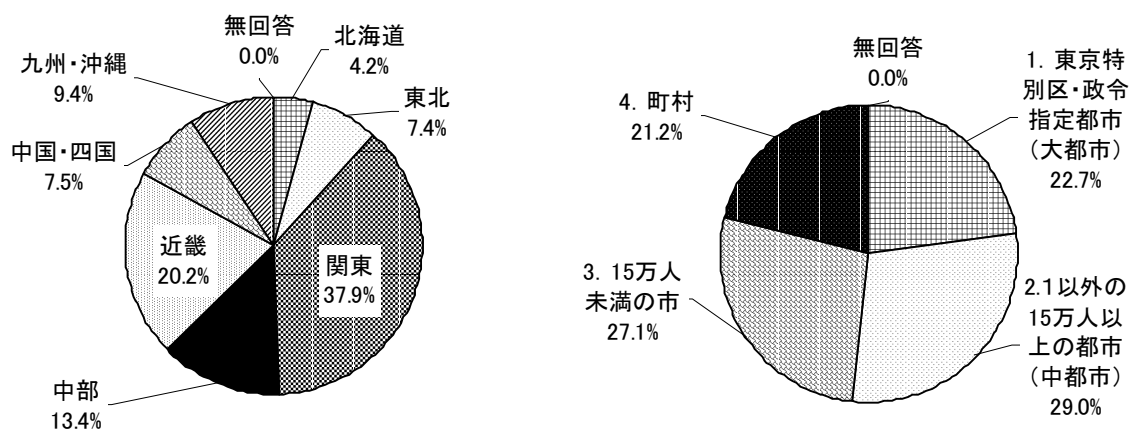
1. 回答者の属性

(1) 居住地域

回答者の居住地域は、「関東」(37.9%)、「近畿」(20.2%)、「中部」(13.4%)の3地域で約70%となっている。

規模の分布を見ると、「東京特別区・政令指定都市(大都市)」が22.7%、「それら以外の15万人以上の都市(中都市)」が29.0%、「15万人未満の市(小都市)」が27.1%、町村が21.2%となっている。

図表 2 - 1 - 1 居住地域 (単数回答 n=1,765)

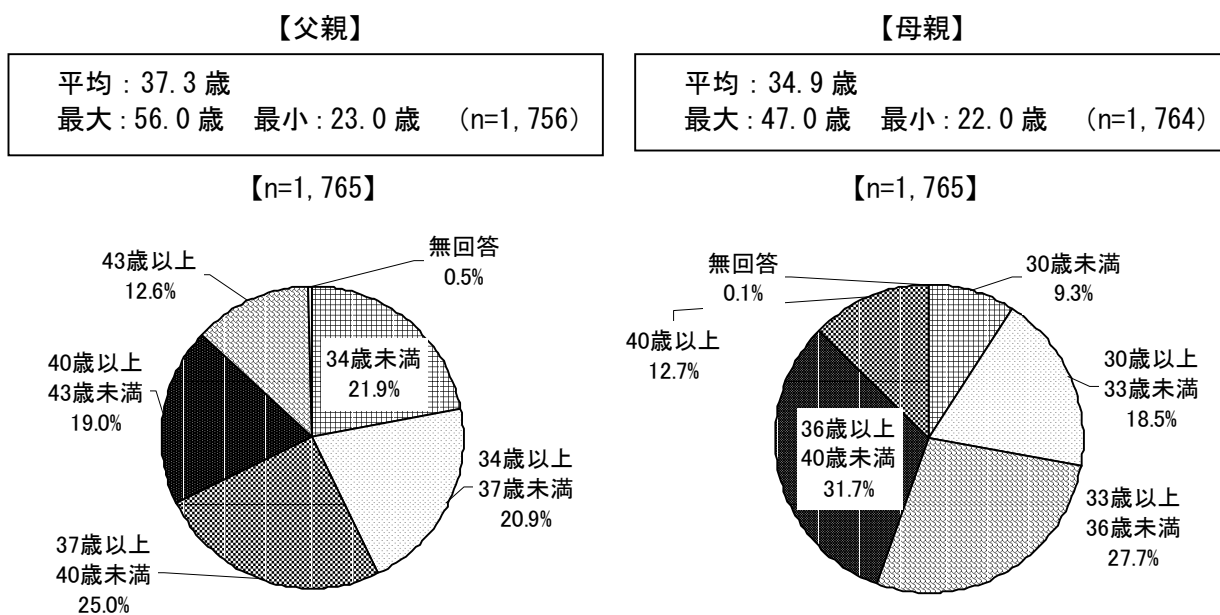


(2) 年齢

父親の平均年齢は 37.3 歳、母親の平均年齢は 34.9 歳であった。

父親は、「40 歳以上」が全体の 31.6%を占めている。母親は「36 歳以上 40 歳未満」が 31.7%を占めている。

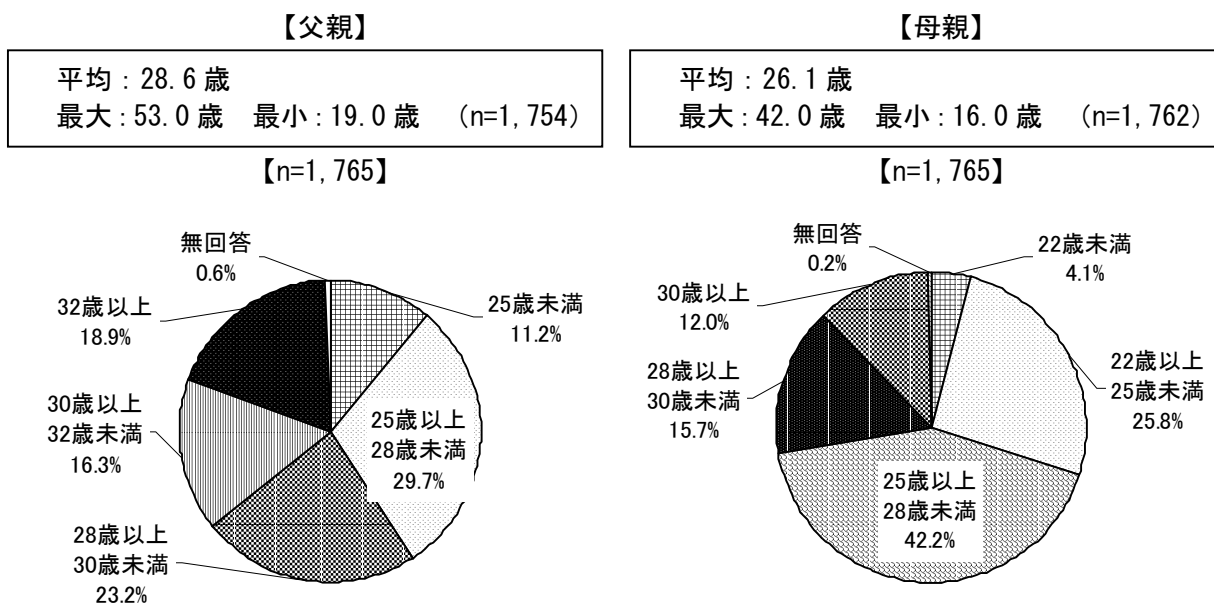
図表 2 - 1 - 2 年齢 (実数記入)



(3) 結婚年齢

結婚時の平均年齢は、父親が 28.6 歳、母親が 26.1 歳であった。

図表 2 - 1 - 3 結婚年齢 (実数記入)

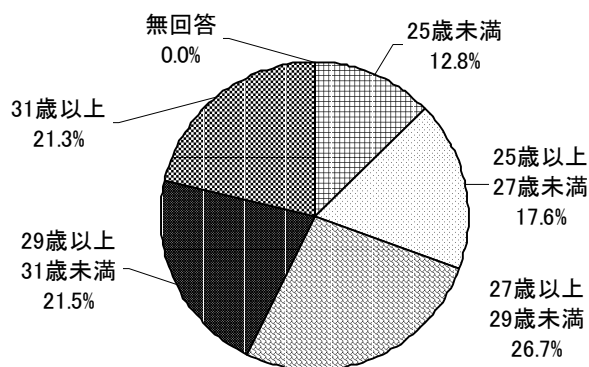


(4) 第一子出産時の年齢（母親）

第一子出産時の母親の平均年齢は、28.1歳であった。

図表 2 - 1 - 4 第一子出産時の年齢（母親）（実数記入）

平均：28.1歳 最大値：42.0歳 最小値：16.0歳 (n=1,765)
【n=1,765】



(5) 個人年収

個人年収は、父親は「500万円以上700万円以下」が36.9%と最も多く、母親は「個人の年収はない」(45.9%)と「100万円未満」(27.3%)を合わせた割合が73.7%を占めている。

図表 2 - 1 - 5 個人年収（単数回答）

【父親】

【母親】

	人	%
100万円未満	6	0.3
100万円以上150万円未満	9	0.5
150万円以上300万円未満	102	5.8
300万円以上500万円未満	490	27.8
500万円以上700万円未満	651	36.9
700万円以上1000万円未満	380	21.5
1000万円以上1300万円未満	67	3.8
1300万円以上	25	1.4
個人の収入はない	5	0.3
無回答	30	1.7
全体	1,765	100.0

	人	%
100万円未満	482	27.3
100万円以上150万円未満	66	3.7
150万円以上300万円未満	61	3.5
300万円以上500万円未満	55	3.1
500万円以上700万円未満	33	1.9
700万円以上1000万円未満	5	0.3
1000万円以上1300万円未満	2	0.1
1300万円以上	0	0.0
個人の収入はない	811	45.9
無回答	250	14.2
全体	1,765	100.0

(注) %の第1位のものに濃い網掛け、第2位のものに薄い網掛け

(6) 世帯年収

世帯年収は、「500万円以上700万円未満」(36.3%)をモードとしてほぼ対称な分布となっている。

図表 2 - 1 - 6 世帯年収 (単数回答)

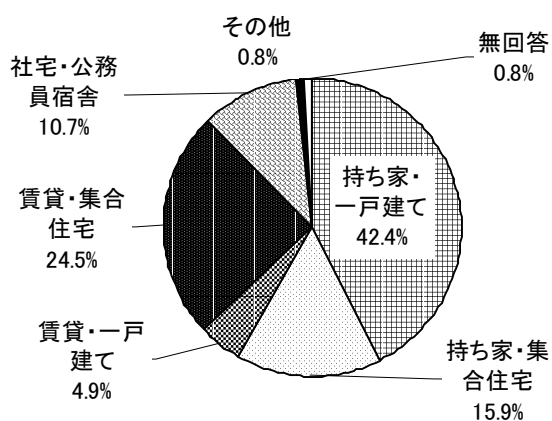
	人	%
100万円未満	7	0.4
100万円以上150万円未満	8	0.5
150万円以上300万円未満	73	4.1
300万円以上500万円未満	432	24.5
500万円以上700万円未満	641	36.3
700万円以上1000万円未満	433	24.5
1000万円以上1300万円未満	107	6.1
1300万円以上	37	2.1
無回答	27	1.5
全体	1,765	100.0

(注) %の第1位のものに濃い網掛け、第2位のものに薄い網掛け

(7) 住居形態

住居形態は、「持ち家・一戸建て」が42.4%で最も多い。持ち家比率は58.3%である。また、持ち家と賃貸の集合住宅を足した割合が40.4%となっている。

図表 2 - 1 - 7 住居形態 (単数回答 n=1,765)



2. 家族の状況

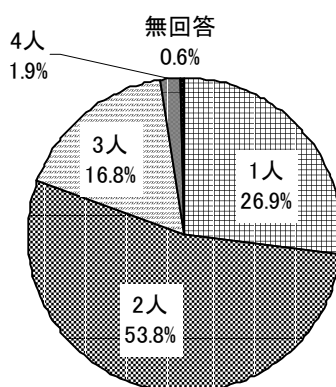
(1) 子どもの人数（全体）

同居していない子どもも含めた、子ども全体の平均人数は 1.9 人であった。分布状況をみると、「2人」が 53.8%で最も多い。

図表 2 - 1 - 8 子どもの人数（全体）（実数記入）

平均：1.9人 (n=1,754)

【n=1,765】



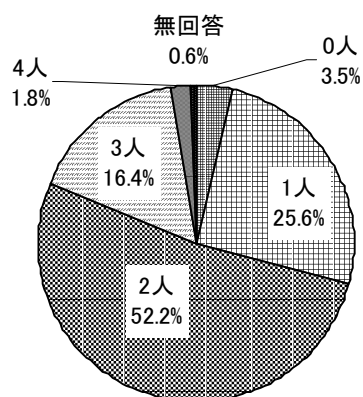
(2) 子どもの人数（同居）

同居している子どもの平均人数も 1.9 人であった。分布状況をみても、やはり「2人」との回答が最も多く、52.2%を占める。

図表 2 - 1 - 9 子どもの人数（同居）（実数記入）

平均：1.9人 (n=1,754)

【n=1,754】



(3) 子どもの年齢

本調査の対象世帯の子どもは、全部で 3,392 人であり、うち 2,451 人が 6 歳以下となっている。

図表 2 - 1 - 10 子どもの年齢

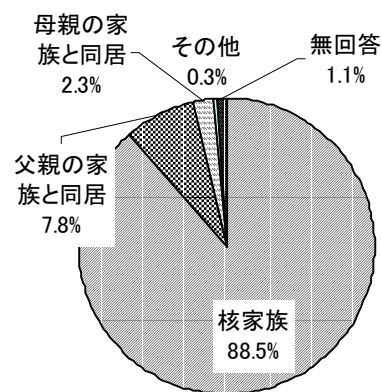
	平均	最大	うち 6 歳以下	n
第一子	6.4 歳	22 歳	1,001 人 (57.1%)	1,752 人
第二子	4.3 歳	20 歳	1,106 人 (86.5%)	1,278 人
第三子	3.5 歳	18 歳	310 人 (94.5%)	328 人
第四子	3.1 歳	6 歳	34 人 (100.0%)	34 人
合計	——	——	2,451 人 (72.3%)	3,392 人

(4) 同居家族（父親）

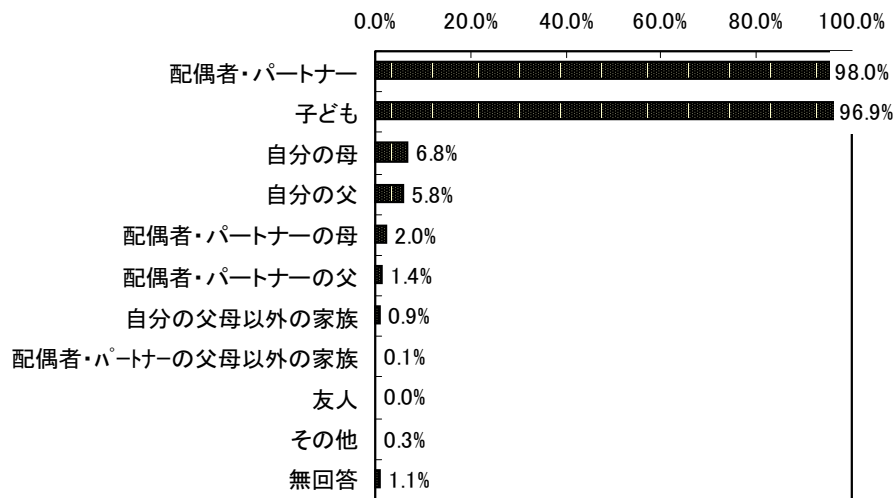
同居家族は、父親に聞いたところ、「配偶者・パートナー」または「子ども」とのみ同居している「核家族」が 88.5%、父親の家族と同居している世帯が 7.8%、母親の家族と同居している世帯が 2.3%となっている（同居家族の回答結果より分類）。

「配偶者・パートナー」と「子ども」以外の同居家族としては、父親側の父母が多い。なお、「配偶者・パートナー」と「子ども」が 100%になっていないのは、単身赴任等により別居している父親がいるためとみられる。

図表 2 - 1 - 11 同居家族（父親）（複数回答 n=1,765）



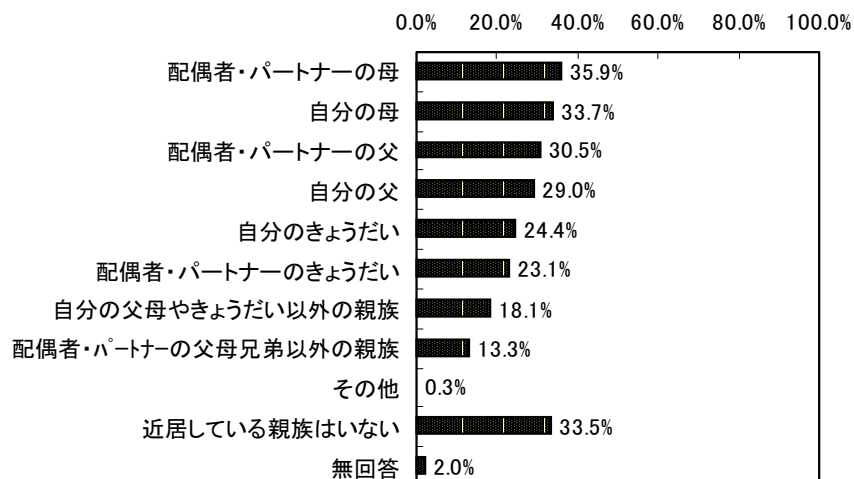
図表 2 - 1 - 12 同居家族（父親）（複数回答 n=1,765）



（5）近居している親族（父親）

近居している親族は、父親に聞いたところ、「配偶者・パートナー（母親）の母」が 35.9%で最も多く、次いで「自分（父親）の母」の 33.7%となっている。母親側の父母の割合は、父親側の父母の割合よりも、やや高くなっている。

図表 2 - 1 - 13 近居している親族（複数回答 n=1,765）



3. 父母の就業状況

(1) 就業形態

就業形態は、父親は、「正社員：恒常的に残業あり」が 56.9%と過半数を占めた。これに「正社員：おおむね定時退社」の 19.0%を合わせると、フレックスや在宅勤務を除いた正社員が全体の 75.9%を占める。

母親は、「無職」が 59.4%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が 20.1%となっている。

図表 2 - 1 - 14 就業形態（単数回答）

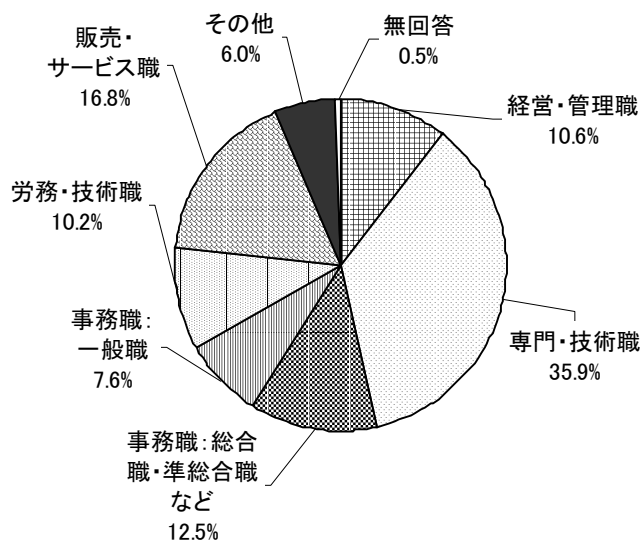
【父親】			【母親】		
	人	%		人	%
正社員：おおむね定時退社	335	19.0	正社員：おおむね定時退社	82	4.6
正社員：恒常的に残業あり	1,004	56.9	正社員：恒常的に残業有り	22	1.2
正社員：フレックスタイムや短時間就業	34	1.9	正社員：フレックスタイムや短時間就業	15	0.8
正社員：勤務時間が不規則	196	11.1	正社員：勤務時間が不規則	10	0.6
正社員：在宅勤務	4	0.2	正社員：在宅勤務	3	0.2
派遣・契約社員	15	0.8	派遣・契約社員	38	2.2
パート・アルバイト	9	0.5	パート・アルバイト	354	20.1
自営業・家族従業	135	7.6	自営業・家族従業	52	2.9
内職・在宅ワーク	2	0.1	内職・在宅ワーク	96	5.4
無職	11	0.6	無職	1,049	59.4
その他	12	0.7	その他	36	2.0
無回答	8	0.5	無回答	8	0.5
全体	1,765	100.0	全体	1,765	100.0

(注) %の第1位のものに濃い網掛け、第2位のものに薄い網掛け

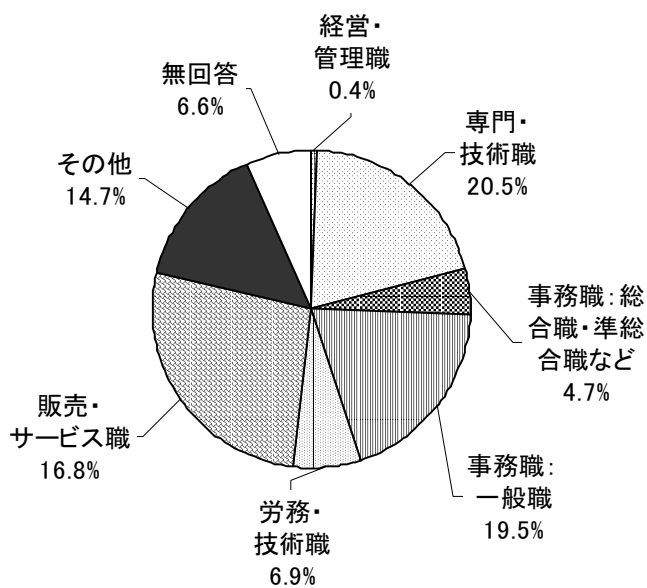
(2) 職種

職種は、父親は「専門・技術職」が 35.9%で最も多い。母親は、就業形態の問いで「無職」と「無回答」を除いた 708 名のうち、「販売・サービス職」が 26.7%と最も多く、次いで「専門・技術職」が 20.5%となっている。

図表 2 - 1 - 15 父親の職種 (単数回答 n=1,746)



図表 2 - 1 - 16 母親の職種 (単数回答 n=708)

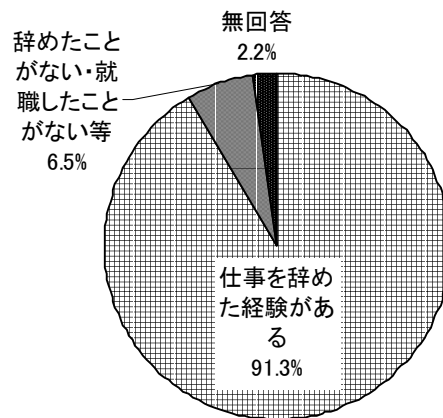


(3) 仕事を辞めた経験（母親）

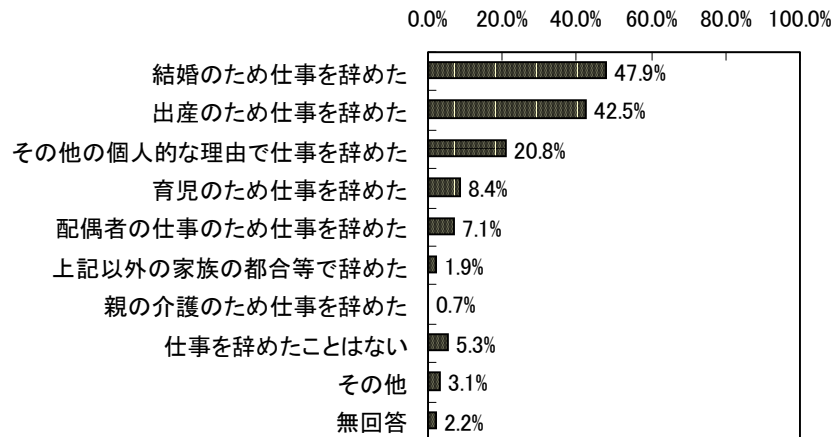
①仕事を辞めた経験の有無（母親）

母親のうち1,611人（92.2%）が退職経験を持つ。理由としては、結婚を機に退職した人が47.9%、出産を機に退職した人が42.5%となっている。

図表 2 - 1 - 17 仕事を辞めた経験の有無（母親）（単数回答 n=1,765）



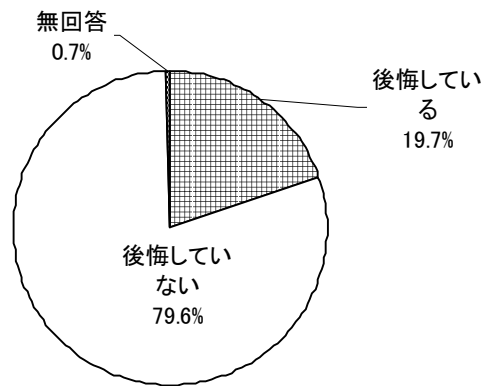
図表 2 - 1 - 18 仕事を辞めた理由（母親）（複数回答 n=1,765）



②仕事を辞めて後悔しているか（母親）

退職経験を持つ母親のうち、仕事を辞めたことを後悔している母親は、19.7%と約2割を占める。

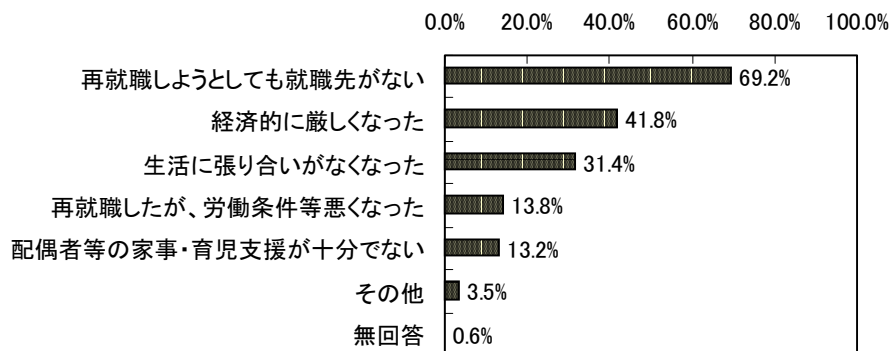
図表 2 - 1 - 19 仕事を辞めた後悔の有無（母親）（単数回答 n=1,611）



③後悔している理由（母親）

後悔している理由としては、「経済的に厳しくなった」（41.8%）、「生活に張り合いがなくなった」（31.4%）といった直接的な退職の影響よりも、「再就職しようとしても就職先がない」（69.2%）という、今後のライフコースの選択肢が狭まったことに対する不満が大きいことがわかる。

図表 2 - 1 - 20 後悔している理由（母親）（複数回答 n=318）

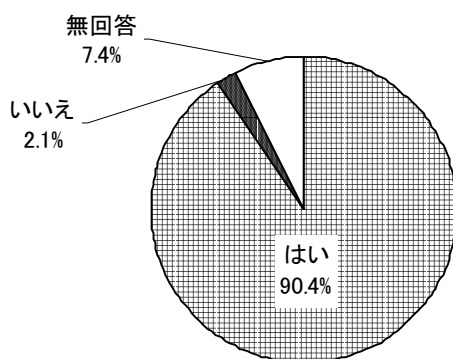


(4) 継続就労している母親

①仕事を継続してよかったか（母親）

一方、仕事を継続している母親は、90%以上が「仕事を継続してよかった」と回答している。

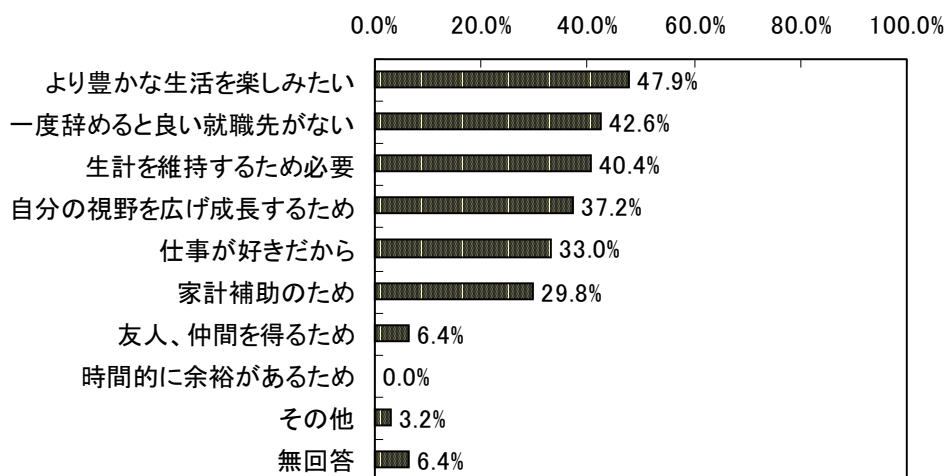
図表 2 - 1 - 21 仕事を継続してよかったか（母親）（単数回答 n=94）



②働く理由（母親）

継続就労している母親が、働く理由としては、「友人・仲間を得るため」、「時間的余裕があるため」を除く、全ての選択肢が幅広くあげられているが、特に「より豊かな生活を楽しみたい」が47.9%と半数近くを占めている。

図表 2 - 1 - 22 働く理由（母親）（複数回答 n=94）

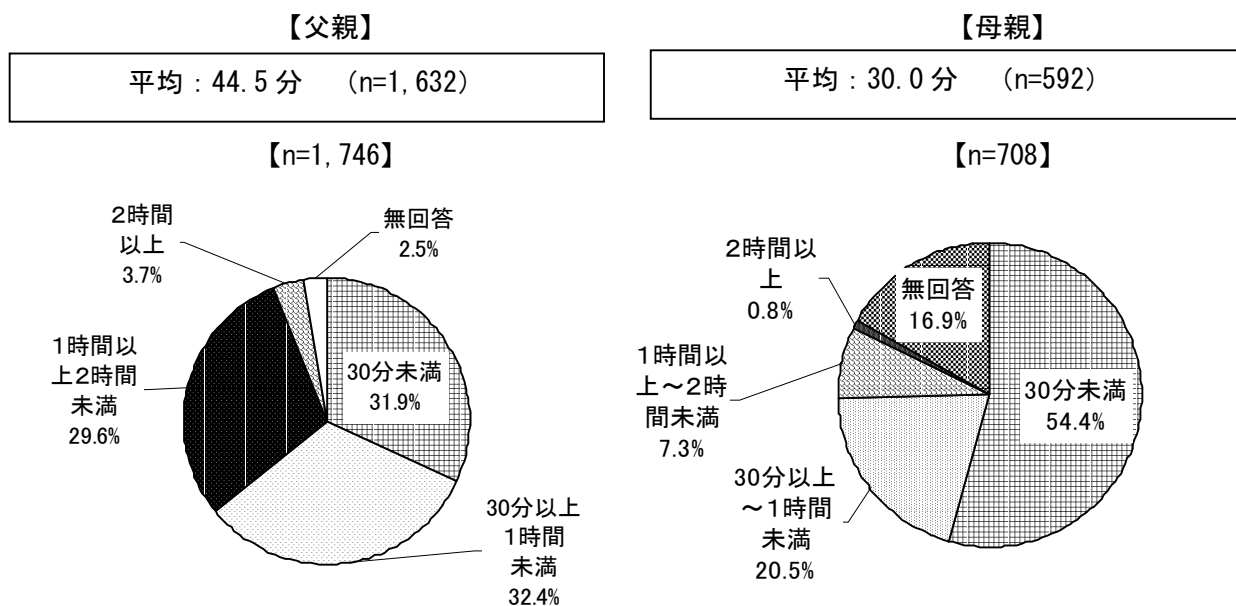


(5) 通勤時間

父親の平均通勤時間は 44.5 分であった。「30 分未満」、「30 分以上 1 時間未満」、「1 時間以上 2 時間未満」がそれぞれ約 30%となっている。

母親の平均通勤時間は 30.0 分で、「30 分未満」が 54.4%となっている。

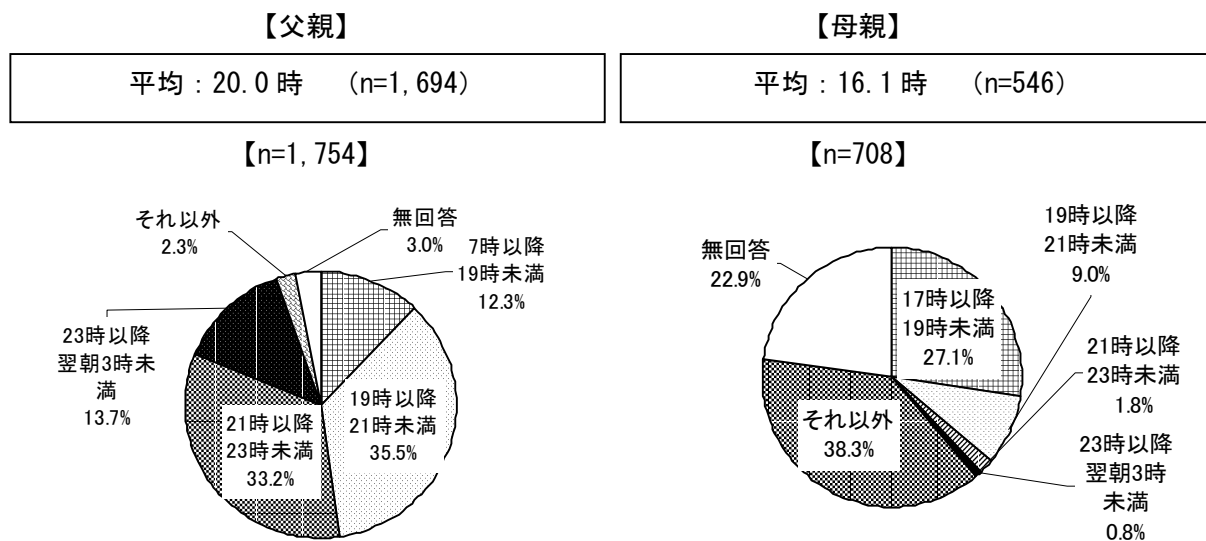
図表 2 - 1 - 23 通勤時間 (実数記入)



(6) 帰宅時間

父親の平均的な帰宅時間は 20.0 時で、19 時から 23 時の間に帰宅する割合が 68.7%となっている。働く母親の平均帰宅時間は 16.1 時で、17 時以降の帰宅は 38.7%と少ない。

図表 2 - 1 - 24 帰宅時間 (実数記入)

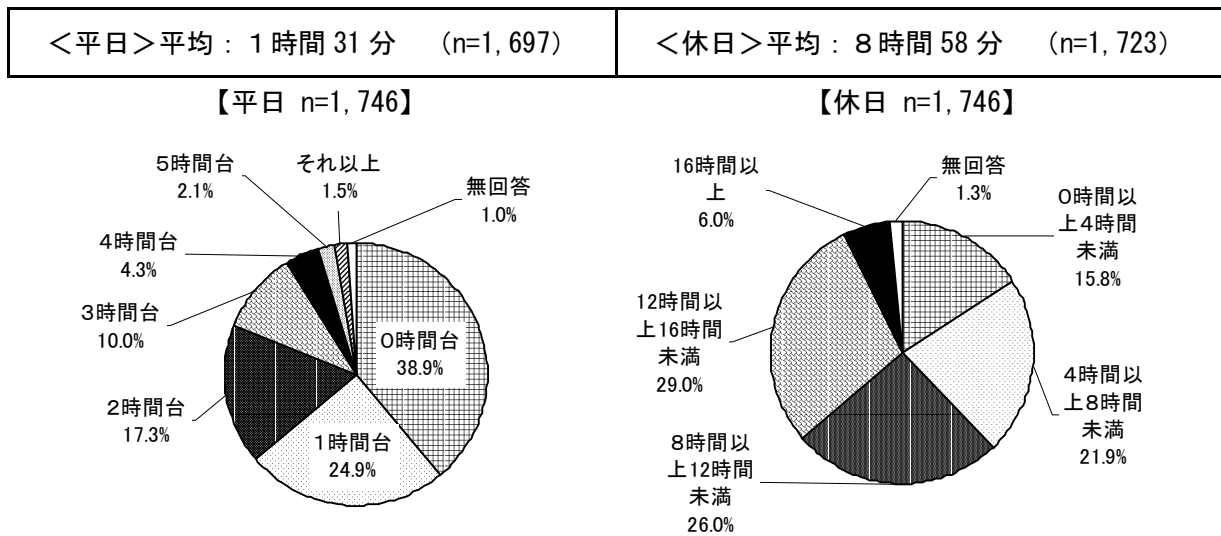


(7) 子どもと過ごす時間

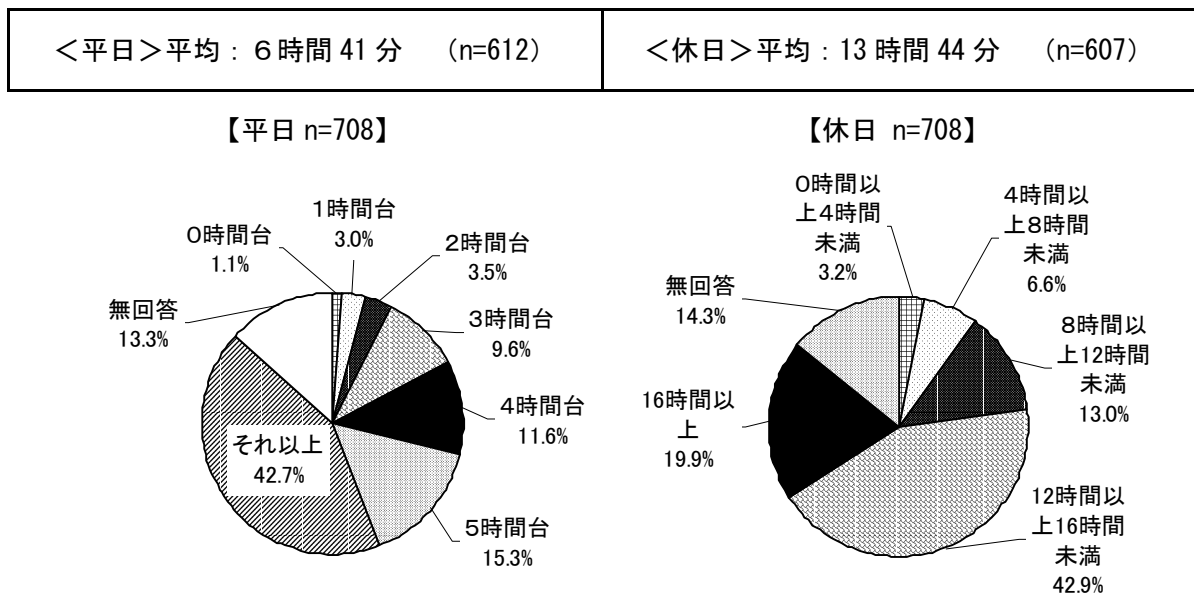
本設問は、働いている父親および働いている母親を対象とした。平日に子どもと過ごす時間は、父親は、「0時間台」が38.9%と最も多いのに対し、働いている母親は、「0時間台」は1.1%に過ぎず、少ない。

休日を比較しても、父親の平均は約9時間なのに対し、母親の平均は14時間近くと、約5時間の差がみられる。

図表 2 - 1 - 25 子どもと過ごす時間（働いている父親）（実数記入）



図表 2 - 1 - 26 子どもと過ごす時間（働いている母親）（実数記入）



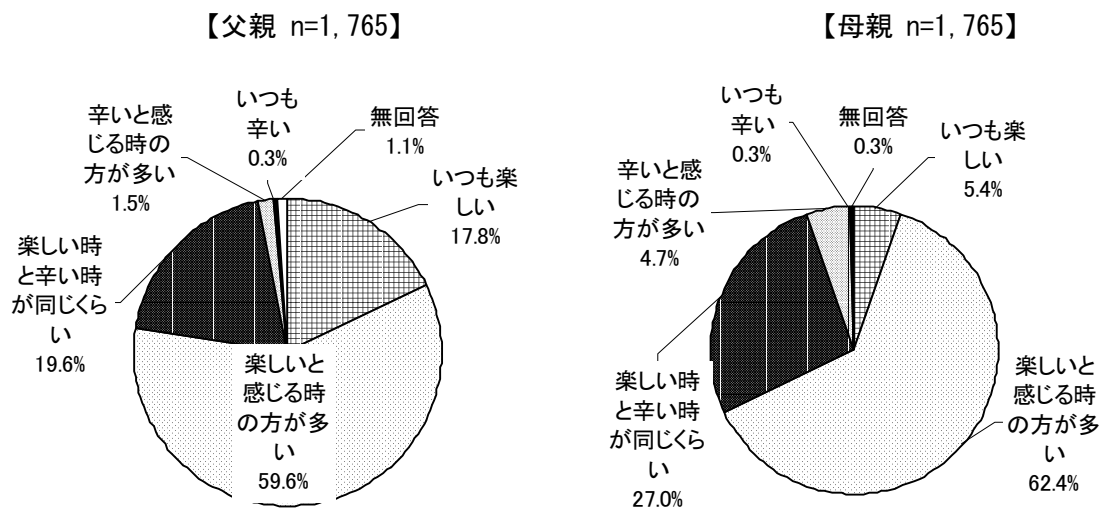
4. 子育てについての考え方

(1) 子育ての楽しさ

子育てを「いつも楽しい」または「楽しいと感じるときの方が多し」と回答している割合は、父親は77.4%と8割に近く、母親も67.8%と7割近くを占めている。

「いつも楽しい」の回答（父親 17.8%、母親 5.4%）と「辛いと感じるときの方が多し」の回答（父親 1.5%、母親 4.7%）の父親と母親の回答の差に表れているように、父親の方が、比較的に子育てを楽しんでいる人の割合が高い。

図表 2 - 1 - 27 子育ての楽しさ（単数回答）



(2) 今後子どもをもうける意思

今後さらに子どもをもうけることを希望するかどうかを聞いたところ、父親、母親とも「なし」の回答が70%程度と多くなっている。

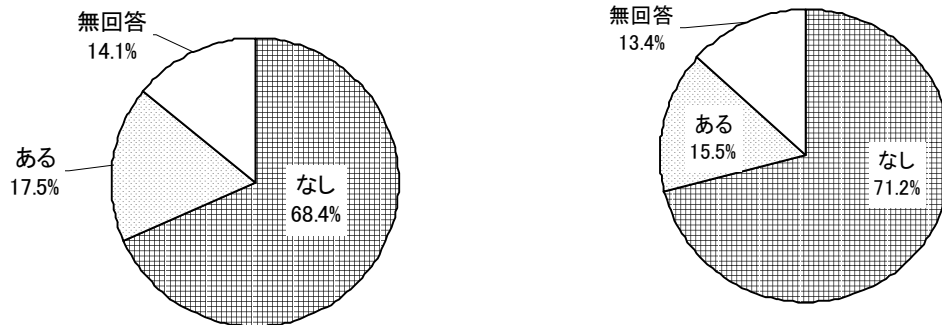
「ある」という回答が、母親よりも父親の方がやや多いことと、他の設問に比べて無回答の割合が高いことが特徴といえる。

子どもの人数別にみると、現在子どもが1人の世帯でも、子どもをもうける意思がある父母は、それぞれ約4割程度にとどまっている。

図表 2 - 1 - 28 子どもをもうける意思（単数回答）

【父親 n=1,765】

【母親 n=1,765】



図表 2 - 1 - 29 子どもの人数別 子どもをもうける意思

【父親】

【母親】

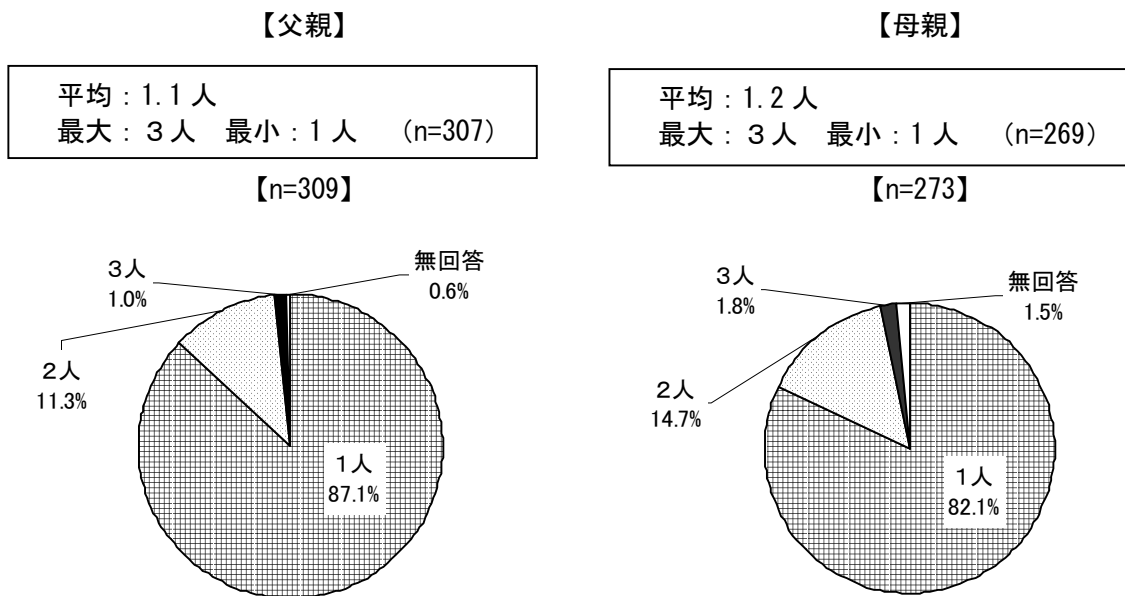
Q12-1. 子どもの人数	合計	Q13-1. 子どもをもうける意思		
		なし	ある	無回答
全体	1765 100.0	1208 68.4	309 17.5	248 14.1
1人	475 100.0	151 31.8	191 40.2	133 28.0
2人	949 100.0	757 79.8	105 11.1	87 9.2
3人以上	330 100.0	300 90.9	13 3.9	17 5.2
無回答	11 100.0	0 0.0	0 0.0	11 100.0

Q12-1. 子どもの人数	合計	Q5. 子どもをもうける意思		
		なし	ある	無回答
全体	1765 100.0	1256 71.2	273 15.5	236 13.4
1人	475 100.0	164 34.5	182 38.3	129 27.2
2人	949 100.0	777 81.9	81 8.5	91 9.6
3人以上	330 100.0	306 92.7	9 2.7	15 4.5
無回答	11 100.0	9 81.8	1 9.1	1 9.1

(3) 欲しい子どもの人数

今後、子どもをもうける意思のある人に、希望の人数をきいたところ、父親よりも母親の方が、わずかではあるが、欲しい子どもの人数が多くなっている。現在の子ども的人数が何人でも、今後欲しい子どもの人数は「1人」が多数を占めている。

図表 2 - 1 - 30 欲しい子どもの人数 (実数記入)



図表 2 - 1 - 31 現在の子ども的人数別 欲しい子どもの人数 (父親)

Q12-1. 子どもの人数	合計	Q13-2. 欲しい子どもの人数 (父親)			
		1人	2人	3人	無回答
全体	309 100.0	269 87.1	35 11.3	3 1.0	2 0.6
1人	191 100.0	159 83.2	30 15.7	0 0.0	2 1.0
2人	105 100.0	99 94.3	3 2.9	3 2.9	0 0.0
3人以上	13 100.0	11 84.6	2 15.4	0 0.0	0 0.0

図表 2 - 1 - 32 現在の子ども的人数別 欲しい子どもの人数 (母親)

Q12-1. 子どもの人数	合計	Q13-2. 欲しい子どもの人数 (母親)			
		1人	2人	3人	無回答
全体	273 100.0	224 81.7	40 14.7	5 1.8	4 1.5
1人	182 100.0	144 79.1	33 18.1	2 1.1	3 1.6
2人	81 100.0	71 87.7	7 8.6	3 3.7	0 0.0
3人以上	9 100.0	8 88.9	0 0.0	0 0.0	1 11.1
無回答	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(4) 子どもが生まれる前の子育てについての考え方

子どもが生まれる前の子育て観は、全般的には、父親と母親とが近い傾向を示しているが、「子どもが好きで欲しいと思っていた」という問いに「はい」と答えた人の割合は、父親の方がやや高く、「子どもを持つのが不安」という問いに「はい」と答えた人の割合は、母親の方がやや高かった。

図表 2 - 1 - 33 子どもが生まれる前の子育てについての考えかた（単数回答）

